

1 全国学力・学習状況調査（4月19日実施）の概要

(1) 「教科に関する調査」と「生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査」です。

調査対象教科は、国語・数学で、それぞれA問題とB問題で構成されています。

(2) 教科に関する調査の内容について

【A問題】：主として「知識」に関する問題	【B問題】：主として「活用」に関する問題
◇身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容	◇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
◇実生活に不可欠で、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	◇様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力など

2 教科（国語・数学・理科）に関する調査結果の概要

国 語 A	本校の3年生が得意としている力	△伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く力。 △辞書を活用し、漢字が表している意味を正しくと捉える力。 △相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話す力。
	本校の3年生が苦手としている力	▼目的に応じて資料を効果的に活用して話す力。 ▼文脈の中における語句の意味を理解する力。 ▼文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりする力。
国 語 B	本校の3年生が得意としている力	△課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える力。 △文章の展開に即して内容を理解する力。 △本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確に自分の考えを書く力。
	本校の3年生が苦手としている力	▼文章の構成を捉える力。 ▼文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える力。 ▼目的に応じて必要な情報を読み取る力。
数 学 A	本校の3年生が得意としている力	△対称移動した図形を書く力。 △比例の式において、Xの値の増加に伴うYの増加量を求める力。 △測定値を与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解する力。
	本校の3年生が苦手としている力	▼空間図形における直線と直線との位置関係を理解する力。 ▼一次関数のグラフから、Xの変域に対応するYの変域を求める力。 ▼整式の加法と減法を計算する力。
数 学 B	本校の3年生が得意としている力	△三角形の合同条件を利用し、筋道を立てて2つの辺の長さが等しいことを証明する力。 △与えられた式から、問題を解決する方法を数学的に説明する力。 △計算の過程を振り返り、数当てゲームの新しい手順を考える力。
	本校の3年生が苦手としている力	▼与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現する力。 ▼グラフの傾きを事象に即して解釈する力。 ▼ $X=4$ 、 $Y=9$ となるように、XとYの関係を書き加えることについて、それが適している理由を数学的に説明する力。

3 学習状況（生活習慣・学習習慣・学習内容）の調査結果の概要

当てはまる・やや当てはまる等と答えた生徒の割合が、全国平均よりも高い値を示した質問内容。 （数値は全国平均との差）	△昼休みや放課後、休日等に本を読むため図書室へ行きますか。（+10.2P） △家で、自分で計画を立てて勉強しますか。（+10.5P） △学校で、好きな授業がありますか。（+10.8P） △学級みんなで協力し何かをやり遂げうれしかったことがありますか。（+10.8P） △先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。（+10.2P） △いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。（+4.7P） △人の役にたつ人間になりたいと思いますか。（+5.6P） △「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。（+14.6P）
当てはまる・やや当てはまる等と答えた生徒の割合が、全国平均よりも低い値を示した質問内容。 （数値は全国平均との比較）	▼1, 2年生の時に受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行ったと思いますか。（-4.3P） ▼1, 2年のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いていたと思いますか。（-18.9P） ▼将来の夢や目標をもっていますか。（-8.1P） ▼普段、1日当たりテレビゲーム(コンピュータ, 携帯, スマホ等含む)をする時間が2時間より少ない。（-3.8P） ▼学校の授業時間以外に1日1時間以上勉強をしますか。（-5.8P） ▼今住んでいる地域の行事に参加していますか。（-8.2P）

5 指導の改善策(結果を分析し、9月の職員会議で重点策の共通理解を図り取り組んでいます)

<確かな学力の育成に向けて>

- ①授業の最後に学習内容を振り返るための学習のまとめを行うとともに、自己評価・他者評価を取り入れ、自らの頑張りを再認識したり、自分の思考が深まるために協働した友達への賞賛等を行い、自己肯定感・自己有用感を更に高める指導を心がけていきます。
- ②授業の中で「学習課題(めあて・ねらい)」を明示することで、課題解決への見通しをもたせ、仲間と協働しながら課題を解決していく授業を心がけていきます。
- ③国語と数学以外の教科の中でも、必要な情報を取捨選択したり、目的に応じて必要な情報を読み取ったり、活用して課題を解決していく活動を心がけていきます。



<豊かな心と健やかな体の育成に向けて>

- ④家庭訪問や参観日、学年・学級だより、家庭学習アンケートなどを活用し、家庭との連携を密に図りながら基本的な生活習慣の定着や家庭学習の習慣化を図ります。
- ⑤地域の市民委員会や校区小学校等と連携を図り、地域に根ざし、地域の一員として共に活動する教育活動を推進するための準備を進めていきます。
- ⑥校区小学校との連携を図り、系統立てて社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等について学習していくキャリア教育をより一層充実させていきます。

